

令和5年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	国語	科目名	言語文化	単位数	2	履修学年・クラス	1ABC
担当者		使用教材	高等学校 標準言語文化(第一学習社)				
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。						
	<p>○生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>○論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>○言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>						
学習方法	○話の構成や展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。						
	<p>○常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。表現の特徴と効果を理解する。</p> <p>○作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>○文語のきまりや特徴的な表現技法と効果を理解する。</p> <p>○我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</p>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。				
	思	思考・判断・表現	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。				
	態	主体的に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	近現代【小説】 とんかつ(三浦哲郎) よろこびの歌(宮下奈都) 羅生門(芥川龍之介) 近現代【詩歌】	<ul style="list-style-type: none"> 話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 詩歌のリズムや表記の特徴を理解し、作品に込められた作者の思いを読み取る。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 繰り返し音読し、積極的に詩歌のリズムを理解しようとしている。 構成や表現の仕方を吟味し、作者の思いを読み取る。 表現の技法とその効果について理解する。 学習課題に沿って作品を創作する。 	○	○	○	<p>【知】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。</p> <p>【思】「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【態】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深く見つめたりしながら、言葉がもつ価値への認識を高めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 話し合い ノート確認 学習課題の提出 小テスト 定期考査
	前期末	古文【説話】 児のそら寝 絵仏師良秀 【随筆】 枕草子 徒然草	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまりを理解し、語句の量をふやして語彙を豊かにする。 話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉える。 当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方、考え方を理解する。 文語のきまりを理解し、語句の量をふやして語彙を豊かにする。 学習課題に沿って自分の考えを伝え合う。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 話し合い ノート確認 学習課題の提出 小テスト 定期考査

後期中間	古文【歌物語】 伊勢物語	<ul style="list-style-type: none"> 和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。 文語のきまりを理解し、語句の量をふやして語彙を豊かにする。 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす役割を理解する。 	○	○	○	<p>【知】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。</p> <p>【思】「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【態】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深く見つめたりしながら、言葉がもつ価値への認識を高めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 話し合い ノート確認 学習課題の提出 小テスト 定期考査
	漢文【入門】 訓読に親しむ 故事成語	<ul style="list-style-type: none"> 基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 助字、再読文字の働きと意味を習得する。 故事や格言に触れ、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 漢文の訓読に慣れるとともに、たとえ語を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 作品の歴史的・文化的背景を理解する。 故事成語の由来と意味を調べ、調べた内容を工夫してまとめる。 	○	○	○		
後期末	近現代【小説】 夢十夜(夏目漱石) 鏡(村上春樹)	<ul style="list-style-type: none"> 話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめる。 	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 話し合い ノート確認 学習課題の提出 小テスト 定期考査
	近現代【伝統と文化】 祭りの笛	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝芸能や伝統行事に関する文章を読んで題材や内容、表現の技法などを的確に捉える。 言葉には、文化の継承を支えるはたらきがあることを理解する。 学習課題に沿って、調査した内容を説明資料にまとめる。 	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 話し合い ノート確認 学習課題の提出 小テスト 定期考査
	漢文【漢詩】	<ul style="list-style-type: none"> 表現や技法に注意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 漢詩のきまりを理解する。 漢詩を読み比べ、詠まれた情景や心情を説明する。 	○	○	○		